

沖縄の子どもの貧困、私たちの課題③

いま子どもたちが 求める学びとは？

—子どもに寄り添う現場から考える—

いま子どもたちは様々な問題の渦中にいます。特に深刻な貧困問題を抱える沖縄の子どもたちには、その社会構造的な問題が圧縮され詰め込まれているとも言えます。そんな子どもたちに必要な学びとは何でしょうか。学力？忍耐力？コミュニケーション力？大人が「学ばせたいもの」はたくさんありますが、学んでいる子ども自身は何を感じ、何を体験しているのでしょうか。教育の現場で、日々子どもに寄り添ってきた皆さんの報告を通して、子どもにとっての学びの意味について考えたいと思います。

聴講料
無料
事前予約不要

2018年 1月20日(土)

時間 ▶ 14:00 ~ 17:00

開場時間 ▶ 13:30

場所 ▶ 沖縄大学アネックス共創館

※裏面に地図があります。

プログラム

13:30 開場

14:00 開会・ご挨拶

基調講演

14:15 「希望を生み出す教室
～どの子にも、学ぶ喜びと生きる喜びを！～」
山崎隆夫氏 (都留文科大学教職支援センター特任教授
元東京都公立小学校教諭)

基調講演

14:55 「学童期の放課後の遊び」を通した
「独りぼっち」から「つながりへ」
～学童保育指針と非認知能力への大人の理解～
山本 隆氏 ((一社)南風原子子どもオンリーワン 代表理事)

基調講演

15:25 「無料塾での取り組み (仮)」
上原龍太郎氏 (珊瑚舎スコーレ 結塾 J&S 学習支援担当)

15:55 休憩

対論

16:05 「沖縄の子どもの貧困、私たちの課題③
いま子どもたちが求める学びとは？
—子どもに寄り添う現場から考える—」
山崎隆夫氏 × 山本 隆氏 × 上原龍太郎氏
コーディネーター
宮島 基 (沖縄大学人文学部こども文化学科准教授)

16:40 フロア討論

17:00 終了



山崎 隆夫 (都留文科大学教職支援センター
特任教授/元東京都公立小学校教諭)
Takao YAMAZAKI
1950年静岡県生まれ。東京都公立小学校教諭として38年間学級担任。主な著書として「教室は楽しい授業でいっぱいだ」(高文研)、「希望を生み出す教室」(旬報社)などがある。教育科学研究会常任委員。学びをつくる会世話人。



山本 隆 ((一社)南風原子子ども
オンリーワン 代表理事)
Takashi YAMAMOTO
1962年大分県生まれ。琉球大学教育学部学校教育養成課程卒業。放課後の居場所「学童クラブ」に就職、設立27年目。学童クラブ支援員の「学童保育指針」「非認知能力」を起点とし、「独りぼっち」から「つながり」に向かう放課後児童健全育成事業の現場・連携を行う。沖縄県学童保育連絡協議会副会長。沖縄大学人文学部こども文化学科非常勤講師。



上原龍太郎 (珊瑚舎スコーレ 結塾 J&S
学習支援担当)
Ryutaro UEHARA
1988年沖縄県生まれ。高校で一年間、アメリカへ留学しアメリカの私立の大学へ入学するも一年で資金断絶の為退学。その後沖縄へ戻り、沖縄大学へ入学したが学費が払えず、除籍。2年後に本校へ復学し、沖縄大学人文学部こども文化学科を卒業。現在珊瑚舎スコーレ結塾で小中学生の無料塾を担当。

コーディネーター



宮島 基 (沖縄大学人文学部こども文化学科
准教授/地域研究所所長)
Motoki MIYAJIMA
1976年東京都生まれ。専門は教育学(青年期教育・教育思想研究)。子どもたちが「生きづらさ」を抱え、大人へと「成長」するプロセスが長期化・複雑化する今日において、問題の実態解明と支えとなる教育の役割について研究。